

令和 8 年 5 月 29 日
厚木市報道資料

国際ソロプチミスト厚木 生理用ナプキン約 2 万 8 千枚を寄贈

国際ソロプチミスト厚木（西迫初美会長）が、「貧困家庭や母子家庭の人々に役立ててほしい」と生理用品を寄贈します。

1 概要

- (1) 日 時 6月2日(火) 13時から
- (2) 場 所 本庁舎4階 秘書課・第二応接室
- (3) 寄贈物品 生理用ナプキン 2万7千520枚(43箱)
- (4) 出席者 西迫初美会長ほか

2 目的・背景

国際ソロプチミストが展開する女性と女兒のためのプロジェクト「アップリフト・ハー」では、5月のテーマを「生理と貧困」に位置付けています。5月28日が「世界月経衛生デー」であることから、生理用品の寄贈を申し出いただきました。

3 PRしたい内容、事業のポイント、前回との違いなど

- ・「アップリフト・ハー」は、国際ソロプチミストアメリカが進める会員参加型の四半期にわたる取り組みです。あらゆる年齢層の女性が教育や経済的自立を目指す中で直面する障害物に焦点を当て、「生理と貧困」の他に「人身売買」「ひとり親家庭の育児」「恋人や配偶者による暴力」をテーマとした取り組みを展開しています。
- ・国際ソロプチミスト厚木は、昭和45年7月に国内6番目のクラブとして設立。設立に当たっては、国際ソロプチミスト東京の会員であり、相模ゴム工業の創設者であった松川サク氏（本市名誉市民）が深く関わっています。
- ・同会からの生理用品の寄付は、昨年にかけて2回目。寄贈された生理用ナプキンは、市内で暮らす生活困窮世帯や母子家庭などの中から希望者に配布します。

本資料の問い合わせ先

市民福祉部 地域包括ケア推進課

課長 田淵 栄一 電話 046-225-2206